



■発行年月日/2026年7月1日 ■発行/独立行政法人国立病院機構千葉医療センター ■発行責任者/院長 古川勝規 ■編集者/副院長 大河昭彦
〒260-8606 千葉市中央区椿森 4-1-2 Tel 043-251-5311 Fax 043-255-1675 <https://chiba.hosp.go.jp>

理念

信頼される医療を築く
Building Trust
私たちは、地域の方々に親しまれ、
信頼される医療を目指します。

基本方針

- ・患者さんをはじめ、センターに関わるすべての方々の人権を尊重し、相互信頼で成り立つ安全・安心な医療を目指します。
- ・地域の医療機関に信頼されるエビデンスに基づいた幅広くかつ専門性の高い急性期医療の構築を目指します。
- ・良質かつ最新の医療を提供するために教育・研究・研修・情報発信を推進し自己研鑽に努めます。以上の方針を継続的に実現する病院運営に努めます。



瑠璃光院

撮影：高橋美穂（看護部長）



地域の安心を支えるために

院長 古川勝規

盛夏の候、地域の皆さまには平素より千葉医療センターをご利用いただき、厚く御礼申し上げます。

世界に目を向けると、各地で紛争や対立が続き、エネルギー問題や物価高騰など、私たちの日常生活にも影響を及ぼす不安定な状況が続いています。また、気候変動

による異常気象は世界共通の課題となり、日本でも猛暑や豪雨などへの備えがこれまで以上に求められています。医療の現場においても、こうした社会環境の変化は決して無関係ではなく、医薬品供給や医療資源の確保など、さまざまな課題として現れています。

そのような時代だからこそ、地域の皆さまが安心して医療を受けられる環境を維持することが、私たちの重要な使命であると考えています。当院は救急医療や専門医療を担う地域の中核病院として、地域の診療所・クリニックの先生方との連携を一層強化し、それぞれの医療機関の役割を生かした切れ目のない医療提供に努めています。

また、今年も本格的な夏を迎え、熱中症への注意が必要な季節となりました。特に高齢者や基礎疾患をお持ちの方は、適切な水分補給や室温管理を心がけ、体調に変化を感じた際には早めに医療機関へご相談ください。

地域医療を取り巻く環境は変化を続けていますが、私たちはこれからも「地域から信頼される病院」として、安全で質の高い医療の提供に努めてまいります。今後とも千葉医療センターへのご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

YUKIBANK(四半)

昇任挨拶 / 診療科紹介(外科).....	2
診療トピックス 101	3
医学史アネクドット 補遺5	4~5
がんサロンだより.....	5
新臨床研修医紹介 / 認知症看護認定看護師から「せん妄」	6
市民健康セミナー / 専門外来表 / 編集後記	7
外来担当医師表.....	8

昇任のご挨拶

昇任のご挨拶

歯科口腔外科医長 嶋田 健

この度令和8年4月1日をもって歯科口腔外科医長に就任いたしました嶋田健と申します。当院には平成27年より赴任しておりましたが、昨年度末に中津留誠前医長が定年退職したことに伴いその後任となりました。

当科は顎・顔面・口腔領域の疾患に対しての第二次医療機関として地域の医療機関からのご要請に応じ

ることを使命としておりましたが、今後もその方針に変わりはありません。いま病院経営は厳しいですが、このような状況であっても急性期病院としての機能が揺らぐことがあってはならないと考えております。

当院の基本方針通りにエビデンスに基づいた幅広く専門性の高い急性期医療を行い地域の医療機関に信頼されること、自己研鑽に努め良質かつ最新の医療を提供することを歯科口腔外科領域で実践しながら、病院経営の安定にも寄与できるよう努めてまいりたいと思っております。

どうぞよろしくお願いたします。

診療科紹介（外科）

外科医長 野村 悟

当科は常勤医師10名で消化器疾患に対する手術、内視鏡治療、がん薬物治療などを行っており、ここ数年の全身麻酔手術症例数は年間700～750件で推移しています。

当科には日本外科学会・日本消化器外科学会・日本肝胆膵外科学会・日本消化器内視鏡学会・日本肝臓学会・日本胆道学会・日本大腸肛門病学会など各学会認定の専門医・指導医が多数所属しており、手術のみならず内視鏡治療、がん薬物治療に関しても治療経験の豊富な医師を中心に診療ガイドラインに基づいた最新の標準的治療を行っています。また日本内視鏡外科学会技術認定取得者も複数名所属しており、安全かつ負担の少ない低侵襲手術を心がけて鏡視下手術を幅広い消化器疾患に対して数多く積極的かつ安全に行っています。腹部救急疾患（急性胆嚢炎、急性虫垂炎、腸閉塞、消化管穿孔など）にも可能な限り対応しており、ここ数年の緊急手術症例数は年間120～150件です。原則的に連携医の先生方からのご紹介は全例受け入れをいたします。

当科の特色と強味は、ほぼ全ての消化器外科治療に対して対応可能な点です。胃癌・大腸癌などはもちろん、高度な専門的経験技能を必要とする食道癌・下部直腸癌・肝胆膵領域悪性腫瘍などに対する標準的外科治療を数多く積極的かつ安全に行っています。更には総合病院の特性を活かして、あらゆる合併症や複数の併存疾患を伴う治療困難症例に対しても他科との緊密な連携にて対応可能です。前述のように低侵襲手術に力を入れており、胃癌・大腸癌・胆石・膵膵部ヘルニアなどはもちろん、近年は食道癌・肝癌・膵体尾部癌などの高難度手術に対しても積極的に鏡視下手術を

行っています。

当科の主な診療トピックスは以下の通りとなります。

- 肝胆膵領域悪性腫瘍（肝癌・胆道癌・膵癌）は高度な専門的経験技能に基づく外科治療が必要です。日本肝胆膵外科学会高度技能専門医を中心に術前治療も含めた高度技能手術を積極的かつ安全に行っています。2023年より肝部分切除、肝外側区域切除、膵体尾部切除などに対して腹腔鏡下手術を積極的に導入して安全に症例を集積しています。2025年より日本肝胆膵外科学会高度技能専門医修練施設に認定されました。千葉市内では千葉大学医学部附属病院、千葉県がんセンター、当院の3施設しか認定されていません。
- 食道癌は日本食道学会食道科認定医を中心に手術のみならず内視鏡治療や薬物放射線治療を含めた高度な集学的治療を積極的に行っており、2017年より鏡視下手術を導入して安全に症例を集積しています。
- 胃癌および大腸癌は多くの症例で術前治療を導入しており、安定した腹腔鏡下手術を数多く積極的に行っています。下部直腸癌に対しては肛門機能温存手術も行っています。
- 胆石症や膵膵部ヘルニアなど良性疾患に対する腹腔鏡下手術も積極的に行っています。千葉市内では有数の手術症例数であり、急性胆嚢炎や急性虫垂炎など腹部救急疾患に対する緊急手術も腹腔鏡下で積極的かつ安全に行っています。

当科は消化器に関するほぼ全ての疾患に対応可能ですので、お腹の病気に関してお気軽にご相談ください。これからも地域の皆様に信頼して頂ける医療を行って参りますので、患者さんや連携医の先生方には、今後ともご指導ご鞭撻のほどをよろしくお願申し上げます。

診療トピックス ⑩

肥満症をご存知ですか？

糖尿病代謝内科医長 大野 友寛

皆さん肥満症という疾患についてご存知でしょうか？「肥満」は太っている状態を指す言葉で病気を意味する言葉ではありません。しかし、肥満に伴う合併症を併発している場合、もしくはその発症リスクが高い状態では「肥満症」と診断され、医学的な減量治療の対象となります。今回は肥満症について皆さんに知っていただきたいと思います。

・肥満症とは？

日本では肥満は体格指数(BMI=体重[kg]/身長[m]²)が25以上で身長に比して体重の重い状態のことを指します。しかし、この基準だけでは疾患とは言えません。例えば筋肉量の多いスポーツ選手などはBMIで25以上の方も珍しくないからです。しかし、その体重過多が内臓脂肪の蓄積などの場合、代謝疾患を引き起こすことがあります。また、過度な体重により、股関節や膝関節に負荷がかかり整形外科的な問題が生じることや、睡眠時無呼吸などの原因となることも多いです。これら、肥満が起因と考えられる各種疾患を併発している場合は体重の減少でそれらの合併症も改善が期待できるため、医学的な減量対象となります。

・肥満症の診断基準は？

さて具体的にはどのようなケースが肥満症に該当するのでしょうか？ BMI 25以上に加え、1. 2型糖尿病などの耐糖能障害、2. 脂質異常症、3. 高血圧症、4. 高尿酸血症・痛風、5. 心筋梗塞や狭心症などの冠動脈疾患、6. 脳血管障害、7. 非アルコール性の脂肪肝、8. 月経異常・不妊、9. 睡眠時無呼吸症候群、10. 膝関節症などの運動器疾患、11. 肥満関連腎臓病のいずれかを1つ以上合併している場合です。さらにBMIが35以上の場合は高度肥満症と診断されます。

1. 肥満症の診断に必要な健康障害

- 1) 耐糖能障害 (2型糖尿病・耐糖能異常など)
- 2) 脂質異常症
- 3) 高血圧
- 4) 高尿酸血症・痛風
- 5) 冠動脈疾患
- 6) 脳梗塞・一過性脳虚血発作
- 7) 非アルコール性脂肪性肝疾患
- 8) 月経異常・女性不妊
- 9) 閉塞性睡眠時無呼吸症候群・肥満低換気症候群
- 10) 運動器疾患 (変形性関節症：膝関節・股関節・手指関節, 変形性脊椎症)
- 11) 肥満関連腎臓病

日本肥満学会編：肥満症診療ガイドライン2022、ライフサイエンス出版、2022、P1、表1-2
肥満に起因ないし関連する健康障害より引用

・肥満症はなぜ治療が必要なのか？

肥満症に該当する方では、上に挙げた合併症を複数併発している場合が多いです。これらの疾患に対してそれぞれのアプローチはもちろん大切なのですが、わずか3%の減量で合併症が一元的に改善すると考えられています。そのため、現在のガイドラインでは肥満症では-3%、高度肥満症では-5~10%の減量を目指して診療するように勧められています。

・肥満症の具体的な治療法は？

肥満症の具体的な治療法として、食事・運動療法が基本となります。しかし、現代社会ではたとえ健康的な生活習慣を望んでもなかなか実践できない状況の方も多いと思います。その場合、薬物療法や胃を小さくする手術を行う外科治療なども選択肢として挙げられます。

・肥満症治療薬とは？

2024年より新しい肥満症の治療薬が日本で使用できるようになりました。GLP-1受容体作動薬・GIP/GLP-1受容体作動薬という種類の薬です。これらの薬はもともと糖尿病の診療で使われており、血糖を下げる効果が大きい治療薬として知られていましたが、その減量効果についても関心を集めてきました。これらの薬は、以前は糖尿病の疾患を持つ方のみ使用できましたが、2024年より糖尿病のない肥満症(例えば脂質異常症と高血圧症のみの合併)の方にも使用できるようになりました。しかし、これらの薬は現在68週もしくは72週間しか使用できない制限があり、さらに使用を中止すると体重が元に戻ってしまう報告もあります。そのため、魔法の薬として認識するのではなく、使用期間中に生活習慣を整え、使用中止後も体重をキープし続けるためのサポート薬として認識する必要があります。

これらの薬剤は美容的な使用をされてしまうことも多く、ニュースなどを見てあまりいい印象を持っていない方も多いのではないのでしょうか。しかし合併症を有する肥満の場合、減量は健康の維持のために必須なこともまた事実です。色々な意見があるため、これらの薬を肥満症の治療薬として使用する場合、様々な条件を満たす必要があります。処方できる施設も限られていますが、当院は施設の要件を満たしており、実際に肥満症の治療薬として処方を行っております。興味の出た方はかかりつけ医と相談のうえ、当院へご相談いただけたらと思います。

に據れば医学を独逸学に為したるは固より時の政府當事者の意思に出でたるものにて左の理由に據る、即ち第一、王政復古廣く海外の智識を求むと云ふの時にして、漢方は亜細亜医学なり、故に全世界の医学と為すべきの時なり。第二、幕府の封建は武士世祿世官の世にして、民間の俊才出頭の途は唯儒と医との二途あるのみ、而して医師は位を以て言は小人也、芸人也、個人也、秘伝あり、秘方あり、公衆の心乏し。幕府の文学は温古学なり、自得学なり、其の教不親切にして亦党派を立て易し。第四、嘉永、安政の際蘭学漸く流行し、大阪の緒方最も盛んなり、其の学方は文法文義の研究にして輪講以て優劣を競い、月旦評にて等級を定む、急なるが如くにして達せず、亦時に蘭籍至て得難く且つ高価なり、皆手写して之を会読す、是れ西洋日新窮理(経験、試験)の学聴講実見の教を追及する所以に非ず、而して其の門生三千維新の際多くは諸藩に挙げられ、或は海陸の軍事に従へり、故に医学校設立の際は長崎伝習後の松本佐藤の門人を挙げたり。第五、此の時未だ日新医学の規範立たず、何か大方針確立の要ありしなり。第六、先輩坪井、宇田川、伊東諸生の力能く茅根大麦蒲公英以て葛根湯を圧したるも、此時は既に茅根大麦とは余り情け無し、然れども佛方(此時蘭は佛に傾く)の『奢侈(飾り多く、脆弱贅沢)』は未だ国富に過せず故

に独に従へり。第七、此時蘭は已国勢弱くして直に独佛の書を読んで翻訳せり、英は国人を侮り、米は新国にして医餘り無し。独は国体稍や吾に似て且つ此の時未だ垂細垂に馴れず、医は意也、異也、殊に新異に従ひ敢て独を採れり。』云々。

以上に記す如く相良知安が時勢に鑒み蘭、英の医学を排して独の医学を採るに到るたるには、その間実に一方ならざる苦心の存じたるものの如く、屢々理を尽くして大学別当山内容堂その他と切論したるものなりと云ふ。

以上、「医制50年」、金杉の著書から、旧仮名遣いを残して、抜粋・加筆してみました。独逸教師雇入れの約定書と同記してあり、澤 外務卿から、明治三年二月十三日、松平大学別當殿とある。相良知安の人柄が多少とも残された資料と思いました。相良は、佐倉順天堂、佐藤尚中に留学中、塾頭を勤めました。この役職は人格、学識さらに仁徳を求められます。尚中の信任も必要です。豪腕・自己主張の強い知安が多少炙りだされました。集合写真では珍奇な肘張の兄、前へ突き出た知安の姿勢が印象的です。これに引き換え、岩佐純の墓のゆとり、戒名、生前の慎ましやかな感じと比較してみてください。

次回もフルベッキを中心に、佐賀藩、旧幕藩体制化の文化・諸術移入を追ってみる予定です。

がん患者サロンだより

がんの診断・治療 放射線療法③ (治療の留意点)

治療前の準備: 次の様なことに特に留意下さい。

・役割分担の調整など: 家庭・職場・仕事などの役割分担の調整・代行、体調不良時に頼れる人・通院サポートの確保や、通院の交通手段の確認 など。

・体調管理: 細胞の修復力の差を利用していること など、スケジュール通りの治療で効果をあげるため。

・禁煙: 喫煙での細胞内酸素減少を防ぐため(千葉医療センターニュース 202601 vol.100「放射線治療-①」参照)。

・節酒・禁酒: 飲酒は肝臓や消化器に影響を及ぼすため、照射部位が口・首・食道・腹部の場合は特に控えます。

・化粧・日焼け止め・湿布など: 含有物によっては炎症などが強く出ることがあるため、使用前に相談します。

・口腔ケア: 虫歯・歯周病は感染症の原因になる他、口・のどが治療対象の場合、口腔粘膜炎防止のため、『がん治療のための口腔ケア』と告げて、歯科治療・口腔内ケアを受けます。また、日頃からの丁寧なうがい・歯磨き。

・脱毛への備え: 医療者から脱毛の話があった場合、(医療用)ウイッグ(かつら)・帽子などの対応・入手方法の情報収集をします。ボランティア団体が『タオル帽子』を提供している病院(当院は通院治療室で)もあります。

副作用: 照射部位・治療方法・治療回数・併用療法などによる他、出現時期・症状・程度には個人差があります。

早期副作用: 治療中～終了直後に多くの人に出現する可能性があるが、治療が終われば徐々に軽減・消失。

・全身的なもの: 疲労感・だるさ・倦怠感、食欲不振、貧血(赤血球現象)、感染しやすい(白血球減少)・出血しやすい(赤血球減少) など。

・局所的なもの: 照射部位の皮膚の変化(皮膚炎・粘膜炎)、頭部での脱毛、口腔部位での口の渇き・味覚の変化、

胸部での咳・息切れ、腹部での排泄障害 など。

晩期副作用: 治療後数ヶ月～数年後に稀に起きることがあり、治癒に時間がかかるものが多くなる。

主な症状では、二次がんの発生や妊娠・出産への影響など。治療後の定期健検で様子を見ます。

緊急時の対応方法: 当シリーズの「薬物(化学)療法③ 緊急連絡に関して(2025年10月 vol.99)」も参照ください。

参考)がん情報サービス(国立がん研究センター HP)、県立静岡がんセンター HP、がん研究振興財団 など

患者サロンの話題から 放射線療法を受けて

「手術を乗り越えたと思ったら、再発・再再発で絶望。でも、子どもの笑顔が力に。この子のために治療を続けて。今は仕事にも復帰」と、50歳代女性。

「主人・子どもにも辛さを話せない」との40歳代女性は、「一番力になったのは、放射線治療に来ている患者同士。治療時間が毎日同じだったから」。(宗水)

がん患者サロン

日時: 毎月第4金曜日 13:30~16:00

2026年 7月24日(金) 8月28日(金)

9月25日(金) 10月24日(金)

場所: 千葉医療センター内会議室(道順は当日掲示)

対象: 主としてがん体験者及び、そのご家族です。どちらの医療機関に掛かっておられても参加できます。(予約不要、参加費は無料です)

*感染症の流行状況などによってはお休みします。

当院HP又は、下記にお問い合わせください。

*発熱など体調不良の方は参加をお控えください。

*該当日が祝祭日はお休み。12月は第3金曜日。

問い合わせ: TEL 043-251-5311(代表)

内線 2612 企画課医事

新臨床研修医紹介

姉崎 航也 (基幹型)

中高大と陸上短距離を続けていました。趣味は映画鑑賞と人間観察です。志望科は脳神経外科か消化器外科で考えております。2年間精一杯頑張ります。

加瀬 稔大 (協力型)

趣味はドライブ・海外旅行・格闘技です。志望科は消化器内科を志望しております。皆様から信頼を寄せられるような良い医師になれるよう日々精進して参ります。

加藤 美咲 (基幹型)

中学から硬式テニスをしており、趣味はランニング、カフェ巡り、ライブに行くことです。整形外科と産婦人科に興味がありますが、各科で精一杯頑張ります！

川村 さくら (基幹型)

千葉市出身です。最近2代目となる子犬を家族に迎え、毎日癒されています。患者さんやご家族に信頼される医師を目指し、日々学びを重ねてまいります。

小林 奈菜瀬 (基幹型)

趣味は映画鑑賞で、休みの日は映画館に通っています。内分泌に興味があり、将来としては産婦人科と糖代謝内科などを考えています。2年間よろしくお願ひします。

関根 礼乃 (協力型)

学生時はテニス・ラクロス・弓道をしていました。食べること・旅行・散歩が好きで、手先の細かい作業が得意です。どんなことでもお仕事いただけたら嬉しいです！

中嶋 崇晶 (基幹型)

こんにちは！ 休日はPornograffitiのライブに行ったりケーキ作りをしています。知識・技術の未熟さを痛感していますが、先生方のご指導の下頑張ります！

長谷川 湧生 (協力型)

柏市出身で千葉県に25年住んでいます。大学では水泳部に所属していました。泳ぐのが好きで、今でもちょこちょこ泳いでいます。充実した1年になるように精一杯頑張ります。

半田 達也 (基幹型)

内科志望で現在は消化器内科に興味があります。ラーメンを食べることが好きです。行ってみたい場所はイギリスです。2年間よろしくお願ひします！

細矢 恵弘 (協力型)

趣味は旅行とゲームと工作で、今一番行きたい所は糸島です。将来は眼科か外科を考えています。手を動かすことが好きなので、積極的に手技を学ばせて頂きたいです。

松本 愛未 (協力型)

趣味はトライアスロン、フル・100kmマラソン、トレイルラン、御朱印巡りです。競技で培った体力と粘り強さを診療にも生かし、海でも山でも動ける社会人を目指します。

渡邊 柊太 (基幹型)

今年の目標はベンチプレスで65kg×10回3セットできるようになることです。患者さんの日常に寄り添う医者を目指しています。未熟者ですがよろしくお願ひいたします。

渡邊 陽太 (基幹型)

大学では、フットサルとボルダリングをやっていました。趣味はサッカー観戦とスノーボード、映画鑑賞です。患者さんのため、一所懸命に働きます！

認定看護師よりアドバイス

「せん妄」をご存じですか？

認知症看護認定看護師 山崎 真理絵

高齢化が進み、医療機関では高齢の患者さんが入院される機会が増えています。病気や怪我で入院した際、一時的に「せん妄」と呼ばれる状態になることがあります。

せん妄とは、病気による体調の悪さなどをきっかけに起こる意識の障害や認知機能の変化です。これはよく認知症と間違われることがありますが、せん妄は急に症状が現れ、一時的であることが特徴の一つです。例えば、時間や場所がわからなくなったり、イライラや落ち着かなくなったり、夜眠れなくなることがあります。反対に普段と比べると元気がなくなったように見えることもあります。

せん妄を予防するためには、安心できる環境づくりが大切です。普段使用している眼鏡や補聴器を使うことに加え、時計やカレンダーを見やすい場所に置くことで日時がわかりやすくなります。また、できるだけ本

人が安心できるよう写真や愛用品を身近に置くことも効果的です。さらに日中はできるだけ活動し、夜はしっかりと眠ることで生活リズムを整えることも大切です。慣れない入院環境では不安を感じやすいため、面会や声掛けも大きな支えとなります。

当院では、患者さん一人一人の生活歴や大切にしてきたことを伺い、その人らしく入院生活を送れるよう支援しています。医師、看護師、薬剤師、社会福祉士など多職種で構成される認知症ケアチームが連携し、せん妄予防や発症後の早期改善に取り組んでいます。入院中の混乱や落ち着きのなさは、「年のせい」「認知症になってしまった」と思われがちですが、せん妄は適切な治療やケアにより予防や改善が期待できます。患者さんやご家族が安心して治療を受けられるよう、これからも支援していきたいと思っています。気になる症状や不安なことがありましたら、主治医や病棟スタッフにお気軽にご相談ください。必要に応じて認知症ケアチームなどの専門チームに繋ぎ、患者さんに合った支援を一緒に考えていきます。

市民健康セミナーの開催

8月をのぞく各月第4木曜日に、市民健康セミナーを開催いたします。様々な病気・疾病や健康に関することをテーマに、講演を行なっていきます。

皆様の聴講をお待ちしています。

4～6月に行われたセミナー

- 4月23日(木) 午後2時～3時
「活動性を維持するために
～脊椎疾患治療ができること～」
整形外科医長 村上 宏宇
- 5月28日(木) 午後2時～3時
「リンパ浮腫(むくみ)について
～自分でできるむくみのケア方法と日常生活上のポイント～」
看護部 蛭原 由美子
- 6月25日(木) 午後2時～3時
「糖尿病と治療法」
～今日から出来る予防法から最新の薬物治療まで～
糖尿病代謝内科医長 大野 友寛

今後の予定

第4木曜日 午後2時から3時
会場：当院地域医療研修センター

■ 7月23日(木) 午後2時～3時

「知っておきたい肺がんの基礎知識
～診断から治療まで～」

呼吸器外科医長 石橋 史博

■ 8月は市民健康セミナーをお休み
いたします

■ 9月24日(木) 午後2時～3時

「災害医療について」

薬剤部 和田 一敏

《会場内ではマスクの着用をお願いいたします》

専門外来担当医師表

診療科	月	火	水	木	金
和漢診療科			永井 千草 8:30～13:00 予約制		
不整脈外来(循環器内科)			中野正博(第2・4水曜日) 14:00～16:30 完全予約制		
腎内科(内科)			上田 志朗 (第2・4水曜日)8:30～10:00 紹介制		
リウマチ・アレルギー外来(内科外来)				中澤 卓也 (第2木曜日)13:30～16:00 初診：院内紹介制 再診：予約制	
大腸癌外来(外科)				里見 大介 (初診・再診)12:30～15:00	
胆石外来(外科)				榊原 舞 (初診・再診)13:00～15:00 (再診のみ)15:00～16:00	
股関節外来(整形外科)			阿部 功(股関節) 14:00～15:30 紹介制・予約制		
緩和ケア外来(外科)		豊田 康義 丹藤(認定看護師) 10:00～11:30 予約制	豊田 康義 丹藤(認定看護師) 10:00～11:30 予約制		
ストーマ外来(外科)					谷(認定看護師) 9:00～12:00 予約制
眼瞼下垂外来(形成外科外来)		鈴木文子(第2・4火曜日) 14:00～15:00 予約制			
助産師外来(産婦人科)		<予約制> 午前・午後		<予約制> 午前・午後	
母乳外来(産婦人科)		<予約制> 午前4枠		<予約制> 午前2枠・午後2枠	<予約制> 午後2枠
思春期外来(産婦人科)				岡嶋 祐子 午後 予約制	
性カウンセリング(産婦人科)				大川 玲子 (第1・第3木曜日) 8:30～17:00 予約制	

編集後記

先日、テレビで姉崎大根を使った無水カレーを提供するキッチンカーが紹介されてきました。気になって実際に食べに行ってみると、大根の甘みが感じられる優しい味わいで、すっかり気に入ってしまいました。次は姉崎大根そのものを手に入れて、自宅でも味わってみたいと思う今日この頃です。(MA)

【編集委員名簿】

(編集長 大河昭彦)
(副編集長 北 礼仁)
(會澤正芳)(野村理恵)
(久保慶宜)(楯 朋子)
(佐藤厚子)

令和8年7月1日から 外来診療担当医師表

原則として、
受付時間は平日の8:30~11:30

診療科		月	火	水	木	金	
内科	新患	[交替医]	[交替医]	[交替医]	[交替医]	[交替医]	
	再診	呼吸器内科 <small>新患は紹介制</small>	安田 直史 三宅 勇来 杉浦 信之 伊藤 健治	西村 大樹 西内 菜澄 金田 暁 齊藤 正明	江渡 秀紀 野口 直子 伊藤 健治 阿部 朝美	西村 大樹 野口 直子 多田 稔<予約制> 金田 暁	江渡 秀紀 安田 直史 阿部 朝美 齊藤 正明
		消化器内科	芳賀 祐規 杉本佳那恵 新行内綾子	宮村 達雄 三浦 義史		西村 光司 中尾 駿	芳賀 祐規 三浦 義史
		血液内科 <small>新患紹介・予約制 再診予約制</small>	休診日	上原多恵子	休診日	後藤 茂正(第1,3)	上原多恵子
		糖尿病代謝内科 <small>新患紹介制・再診予約制</small>	高橋 直也	類家裕太郎	大野 友寛	原 悠一郎 小原久美子	和田 誠
脳神経内科(旧:神経内科) <small>新患紹介制・予約制・再診予約制</small>	長瀬さつき 車田賢太郎	織田 史子 大柳 萌子	長瀬さつき 大柳 萌子	織田 史子	青山 辰次		
精神・神経科 <small>新患は受付停止中 再診予約制</small>	楠戸 恵介	休診日	石黒 聡	楠戸 恵介(午前) 川口 恭央 高見 徹	休診日		
循環器内科 <small>新患紹介制・再診予約制 受付10時まで</small>	高見 徹<予約制> 吉野 裕 田澤 寿保	中里 毅	梶山 貴嗣	田澤 寿保	中里 毅		
小児科 <small>水曜の受付は10時30分まで</small>	須藤扶佐代	休診日	須藤扶佐代	[交替医]	佐藤 一樹		
外科・ 消化器外科	福富 聡 榊原 舞 坂本 敏哉	[交替医]	古川 勝規 豊田康義(緩和ケア) 土岐 朋子 千田 貴志 高柳 良介	里見 大介 野村 悟 小倉皓一郎	[交替医]		
乳腺外科 <small>新患は紹介制・予約制</small>	鈴木 正人 吉田 一也	鈴木 正人 吉田 一也	中野 茂治 手術日	鈴木 正人 吉田 一也	鈴木 正人 吉田 一也		
整形外科 <small>火曜の受付は10時まで</small>	大河 昭彦 阿部 功 村上 宏宇 八田 宗粹 矢野 笑里	[交替医] 手術日	大河 昭彦 阿部 功 八田 宗粹 栗栖 亮	村上 宏宇 鶴見 要介 矢野 笑里 栗栖 亮	手術日 (外来休診日)		
形成外科 <small>第1木曜日は予約制 金曜日は予約制</small>	手術日 (外来休診日)	鈴木 文子	手術日 (外来休診日)	鈴木 文子	鈴木 文子 <予約制>		
脳神経外科 <small>新患は紹介制・予約制のみ 再診は予約制のみ</small>	小林 英一	小林 英一	手術日 (新患予約制)	手術日 (外来休診日)	尾崎 裕昭 渡邊 菜央		
呼吸器外科	斎藤 幸雄	手術日 (外来休診日)	斎藤 幸雄 石橋 史博 大橋 康太	斎藤 幸雄 伊藤 貴正	石橋 史博		
皮膚科 <small>新患受付停止中 再診予約制</small>				角田 寿之 櫻山 由利	[交替医]		
泌尿器科 <small>新患は紹介制(月・火・金) 受付は10時まで</small>	一色 真造 櫻山 由利 川下 創大 宮内 武弥(午後)	一色 真造 櫻山 由利 川下 創大	手術日	川名庸子(第1,3) 川下 創大	手術日		
産婦人科 <small>婦人科新患受付は 月・水・金(紹介制・予約制) 産科新患受付は 月・水・金 再診 予約制</small>	中島真理恵 太田朝香音 妊婦健診 手術日	手術日 (外来休診日)	黒田 香織 増田ゆうき 妊婦健診	手術日 (外来休診日)	春成 淳平 杉本 大輔 妊婦健診		
眼科 <small>新患は紹介制・予約制</small>	新井みゆき 岡田 恭子 林 裕子 松崎 由佳 石川 英里 (4診交替制) 手術日	新井みゆき 岡田 恭子 林 裕子 松崎 由佳 石川 英里 (4診交替制) 手術日	新井みゆき 岡田 恭子 林 裕子 松崎 由佳 石川 英里 (4診交替制) 手術日(午後)	手術日 外来注射日	新井みゆき 岡田 恭子 林 裕子 松崎 由佳 石川 英里 (4診交替制)		
頭頸部外科・耳鼻咽喉科 <small>新患は紹介制・再診予約制・受付は10時まで</small>	園部 侑里	休診日	栗田 博也	休診日	新井 亮		
放射線科	酒井 光弘 <予約制>	休診日	酒井 光弘 <予約制>	休診日	酒井 光弘 <予約制>		
歯科口腔外科 <small>新患は紹介制 再診は予約制</small>	嶋田 健 丹沢 藍加	嶋田 健 丹沢 藍加	嶋田 健 丹沢 藍加	嶋田 健 丹沢 藍加	嶋田 健 丹沢 藍加		
病理診断科	<完全予約制(月~金)>						

※専門外来担当医師表は7ページに掲載しています。

交替医はその都度変更になります。